
看護方法論Ⅲ（医療技術）

水田	真由美	教授
岩根	直美	准教授
坂本	由希子	准教授
大西	修平	助教
野々口	陽子	助教
米島	望	助教

2年次後期・必修

2単位・60時間

【概要・目標】

医療において患者が安全・安楽に診療を受けられ、最大の治療効果が得られるように、患者を援助するための基礎的知識・技術を学ぶ。また、診療を受ける患者の心理や苦痛を理解し、援助ができる能力を習得する。基礎看護実習室での演習を中心に教授・学習活動を行う。

目標

- 1) 感染予防に必要な知識・技術を学び、実践することができる。
- 2) 診察および検査時の看護の役割を理解し、必要な看護技術を習得する。
- 3) 薬物療法における看護を学び、与薬管理、注射等の技術を習得する。
- 4) 医療を受ける患者および家族の心理や苦痛を理解し、援助できる基本姿勢を身につける。

【授業内容のスケジュール】

- 1) ～ 5) 感染予防に関する技術
- 6) ～ 9) 診察と検査時の看護
- 10) ～ 12) 導尿
- 13) ～ 25) 薬物療法と看護
- 26) ～ 30) 総合学習

【評価】

筆記試験（70%）、技術試験（20%）、出席状況・提出物（10%）

【教科書】

- 1) 「基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ」
- 2) 「根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術」
※上記1) 2) は1年次に購入したものを使用
- 3) 林 陸郎 編著「看護学生のための臨床検査」第2版 メヂカルフレンド社

【推薦参考図書】

その他、随時紹介する

【その他】

学習サポート

実習室において、自己学習と技術指導を受けることができます。（曜日などの詳細は別途）